



華やかで若さ溢れる
古式ゆかしい流鏝馬

住吉神社の流鏝馬は、肝付町の四十九所神社、日置市の大汝牟遲神社の流鏝馬と並ぶ県下三大流鏝馬の一つで、五穀豊穡や無病息災を祈願して毎年11月23日に奉納される伝統行事です。昭和56(1981)年には県の無形民俗文化財に指定されました。

流鏝馬に先立ち、神前での奉幣の儀を終えた参道は、お昼を過ぎる頃、祭りを見ようと集まった観客でいっぱいになり、馬場入りの時を迎えます。射手の装束は鎌倉時代の巻狩りの姿で、射るのは地元の有者たちです。騎射は鳥居から住吉神社に向かう約300メートルの参道で3回繰り返され、的を射



【曾於市】

県指定無形民俗文化財

住吉神社
流鏝馬

るたびに喝采の声が上がります。射手の放つ矢が的に当たるほどその翌年は豊作に恵まれると言われ、当たりの的を持ち帰って屋根を葺くとその家が栄えると伝えられています。

流鏝馬の後には名物の油竹登りも行われ、境内の雰囲気は一変して和やかな笑い声に包まれます。当日は武道大会も開催。甘酒やコンニャクなどが振る舞われ、参拝客をもてなします。



油竹登りは県内でも珍しい行事です。上部に菜種油が入った5~6メートルの孟宗竹を、子どもたちが手を滑らせながらよじ登り、頂上の景品を誰が早く取れるかを競います。

.....【祭りの舞台】.....

住吉神社

開催日： 11月23日
住 所： 曾於市末吉町 住吉神社参道および境内
交 通： 東九州自動車道末吉財部ICから国道10号
～県道501号～県道503号経由、車で20分
駐車場： 無料(150台)
TEL： 099-482-5958
曾於市教育委員会 社会教育課



由緒正しい神社で
毎年奉納される
県下三大流鏝馬の一つ
をご紹介します。